# 平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月３日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | 不二製油株式会社 | 上場取引所 | 東・大 |
| コ ー ド 番 号 | 2607 | URL | http://www.fujioil.co.jp |
| 代　　表　　者 | (役職名) 取締役社長 | (氏名) | 海老原 善隆 |
| 問合せ先責任者 | (役職名) ＩＲ広報部長 | (氏名) | 隈部　博史　(TEL) 072-463-1035 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成24年８月13日 | 配当支払開始予定日 | ― |

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

## １．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年３月期第１四半期 | 55,977 | △5.4 | 2,963 | △24.2 | 2,887 | △24.9 | 1,880 | △29.6 |
| 24年３月期第１四半期 | 59,169 | 10.6 | 3,911 | △13.5 | 3,842 | △15.9 | 2,671 | △10.9 |

(注) 包括利益 25年３月期第１四半期　3,760百万円(　5.0%) 24年３月期第１四半期　3,580百万円(　16.0%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年３月期第１四半期 | 21.88 | ― |
| 24年３月期第１四半期 | 31.07 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年３月期第１四半期 | 186,282 | 111,997 | 56.8 | 1,231.63 |
| 24年３月期 | 183,862 | 109,464 | 56.4 | 1,205.49 |

(参考) 自己資本 25年３月期第１四半期 105,871百万円　　24年３月期 103,624百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年３月期 | ― | 12.00 | ― | 12.00 | 24.00 |
| 25年３月期 | ― | | | | |
| 25年３月期(予想) | | 12.00 | ― | 12.00 | 24.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第２四半期(累計) | 116,400 | △0.1 | 6,200 | 3.1 | 6,000 | 1.7 | 3,800 | △4.0 | 44.21 |
| 通期 | 248,500 | 5.0 | 15,500 | 19.4 | 15,000 | 15.2 | 9,300 | 12.2 | 108.19 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：有
④　修正再表示　　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年３月期１Ｑ | 87,569,383株 | 24年３月期 | 87,569,383株 |
| ②　期末自己株式数 | 25年３月期１Ｑ | 1,608,883株 | 24年３月期 | 1,608,883株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 25年３月期１Ｑ | 85,960,500株 | 24年３月期１Ｑ | 85,960,599株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益はゆるやかな回復の兆しが見られましたが、デフレ・円高基調の長期化・貿易収支の悪化・雇用環境の低迷等厳しい経済情勢が続きました。また海外では、欧州の金融・財政不安の長期化や新興国の経済成長の鈍化がみられ、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは新中期経営計画「Ｇｌｏｂａｌ＆Ｑｕａｌｉｔｙ　２０１３」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は559億77百万円（前年同期比5.4％減）、営業利益は29億63百万円（前年同期比24.2％減）、経常利益は28億87百万円（前年同期比24.9％減）、四半期純利益は18億80百万円（前年同期比29.6％減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（油脂部門）

国内では、主要原料相場下落による販売価格低下により、部門全体の売上高は減収となりました。ヤシ油・パーム油・調合油は採算維持に努めましたが、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化して、減収・減益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、欧米での販売数量減に加えて、国内同様に採算が悪化して、減収・減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は219億61百万円（前年同期比14.8％減）、セグメント利益（営業利益）は５億56百万円（前年同期比59.9％減）となりました。

（製菓・製パン素材部門）

国内では、業務用チョコレートは、スイートチョコ・カラーチョコの販売が増加して、増収となりました。クリームは、オーム乳業株式会社の株式取得による連結子会社化により増収となり、マーガリン・フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。粉乳調製品の販売が減少しましたが、部門全体では、増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、クリーム、マーガリンの東南アジア・中国での販売が好調に推移して増収となりましたが、日本向け調製品の減少により減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は248億62百万円（前年同期比4.0％増）、セグメント利益（営業利益）は18億91百万円（前年同期比4.2％増）となりました。

（大豆たん白部門）

大豆たん白素材は、食肉・水産市場向けが増加しましたが、健康食品・冷食・惣菜・発酵培地用途が減少して、減収となりました。

大豆たん白機能剤は、発酵培地用途が増加しましたが、輸出が減少して、減収となりました。

大豆たん白食品は、弁当給食市場向けが増加しましたが、即席麺用途が減少して、減収となりました。

以上の結果、当部門の売上高は91億52百万円（前年同期比3.7％減）、セグメント利益（営業利益）は５億15百万円（前年同期比27.5％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億20百万円増加し、1,862億82百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加２億20百万円、たな卸資産の増加17億３百万円、有形固定資産の増加10億10百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ６億91百万円増加し、384億11百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当10億31百万円と四半期純利益18億80百万円により利益剰余金が８億54百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額の13億94百万円の増加等であります。

以上の結果、自己資本比率は56.8%、１株当たり純資産は1,231円63銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第１四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ２億44百万円増加、前第１四半期連結累計期間末に比べ46億26百万円増加し、124億75百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で50億79百万円増加し、29億17百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益29億15百万円、減価償却費20億55百万円、売上債権の減少額８億88百万円等による収入が、仕入債務の減少額11億70百万円、法人税等の支払額19億48百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で４億17百万円支出が増加し、18億５百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出９億50百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で57億31百万円減少し、12億83百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純減少額６億80百万円、長期借入れによる収入６億円、配当金の支払額10億31百万円による支出等があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月８日発表の第２四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,403 | 12,623 |
| 受取手形及び売掛金 | 46,350 | 46,327 |
| 商品及び製品 | 17,793 | 19,635 |
| 原材料及び貯蔵品 | 17,036 | 16,898 |
| 繰延税金資産 | 958 | 1,507 |
| その他 | 3,470 | 2,096 |
| 貸倒引当金 | △99 | △100 |
| 流動資産合計 | 97,913 | 98,988 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 29,583 | 29,536 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 26,186 | 26,602 |
| 土地 | 15,932 | 15,955 |
| 建設仮勘定 | 875 | 1,488 |
| その他（純額） | 1,343 | 1,348 |
| 有形固定資産合計 | 73,921 | 74,931 |
| 無形固定資産 | 1,544 | 1,722 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,671 | 8,740 |
| 繰延税金資産 | 63 | 145 |
| その他 | 1,979 | 1,974 |
| 貸倒引当金 | △232 | △221 |
| 投資その他の資産合計 | 10,483 | 10,639 |
| 固定資産合計 | 85,948 | 87,293 |
| 資産合計 | 183,862 | 186,282 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,394 | 21,561 |
| 短期借入金 | 13,598 | 13,638 |
| 1年内償還予定の社債 | 20 | 20 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,383 | 4,397 |
| 未払法人税等 | 2,100 | 1,446 |
| 賞与引当金 | 1,692 | 2,604 |
| 役員賞与引当金 | 85 | ― |
| その他 | 6,824 | 6,590 |
| 流動負債合計 | 51,099 | 50,256 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,040 | 5,040 |
| 長期借入金 | 14,678 | 15,316 |
| 繰延税金負債 | 727 | 717 |
| 退職給付引当金 | 1,985 | 2,095 |
| 役員退職慰労引当金 | 467 | 71 |
| その他 | 399 | 786 |
| 固定負債合計 | 23,299 | 24,027 |
| 負債合計 | 74,398 | 74,284 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,208 | 13,208 |
| 資本剰余金 | 18,324 | 18,324 |
| 利益剰余金 | 82,627 | 83,481 |
| 自己株式 | △1,746 | △1,746 |
| 株主資本合計 | 112,414 | 113,268 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,359 | 1,217 |
| 繰延ヘッジ損益 | 290 | △75 |
| 為替換算調整勘定 | △10,440 | △8,538 |
| その他の包括利益累計額合計 | △8,790 | △7,396 |
| 少数株主持分 | 5,839 | 6,125 |
| 純資産合計 | 109,464 | 111,997 |
| 負債純資産合計 | 183,862 | 186,282 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 59,169 | 55,977 |
| 売上原価 | 48,184 | 45,595 |
| 売上総利益 | 10,984 | 10,381 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,072 | 7,418 |
| 営業利益 | 3,911 | 2,963 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 86 | 110 |
| 補助金収入 | 43 | － |
| その他 | 66 | 61 |
| 営業外収益合計 | 197 | 171 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 159 | 130 |
| 寄付金 | 65 | 61 |
| その他 | 41 | 55 |
| 営業外費用合計 | 266 | 248 |
| 経常利益 | 3,842 | 2,887 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | － | 50 |
| 特別利益合計 | － | 50 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 40 | 22 |
| 投資有価証券評価損 | 55 | － |
| 災害による損失 | 35 | － |
| 特別損失合計 | 130 | 22 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,712 | 2,915 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,287 | 1,315 |
| 法人税等調整額 | △366 | △366 |
| 法人税等合計 | 921 | 948 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,790 | 1,967 |
| 少数株主利益 | 119 | 86 |
| 四半期純利益 | 2,671 | 1,880 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,790 | 1,967 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △61 | △142 |
| 繰延ヘッジ損益 | △212 | △365 |
| 為替換算調整勘定 | 1,057 | 2,245 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 6 | 55 |
| その他の包括利益合計 | 789 | 1,792 |
| 四半期包括利益 | 3,580 | 3,760 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,317 | 3,315 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 263 | 445 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,712 | 2,915 |
| 減価償却費 | 2,143 | 2,055 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 29 | 93 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △119 |
| 支払利息 | 159 | 130 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △3,425 | 888 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △1,564 | △664 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,685 | △1,170 |
| その他 | 1,055 | 741 |
| 小計 | 328 | 4,870 |
| 利息及び配当金の受取額 | 91 | 119 |
| 利息の支払額 | △125 | △123 |
| 法人税等の支払額 | △2,457 | △1,948 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,162 | 2,917 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,436 | △950 |
| 連結子会社の出資持分売却による収入 | － | 753 |
| 連結子会社株式取得による支出 | － | △900 |
| 関連会社株式取得による支出 | － | △382 |
| その他 | 47 | △326 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,388 | △1,805 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 2,756 | △680 |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少） | 1,000 | － |
| 長期借入れによる収入 | 2,000 | 600 |
| 長期借入金の返済による支出 | △244 | △61 |
| 配当金の支払額 | △1,031 | △1,031 |
| その他 | △32 | △110 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4,448 | △1,283 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 114 | 303 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,011 | 131 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,842 | 12,231 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | － | 112 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △4 | － |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,849 | 12,475 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下.当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の３つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額(注) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 油脂 | 製菓・製パン素材 | 大豆たん白 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,763 | 23,897 | 9,507 | 59,169 | ― | 59,169 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 3,217 | 27 | 232 | 3,476 | △3,476 | ― |
| 計 | 28,980 | 23,925 | 9,739 | 62,646 | △3,476 | 59,169 |
| セグメント利益 | 1,386 | 1,814 | 710 | 3,911 | ― | 3,911 |

（注）　セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

（単位：百万円）

| | 日本 | アジア | 米州 | 欧州 | 計 | 調整額 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 42,028 | 9,003 | 4,512 | 3,625 | 59,169 | ― | 59,169 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 27 | 9,064 | 126 | ― | 9,217 | △9,217 | ― |
| 計 | 42,055 | 18,067 | 4,639 | 3,625 | 68,387 | △9,217 | 59,169 |
| セグメント利益 | 2,854 | 511 | 286 | 160 | 3,813 | 98 | 3,911 |

（注）１　国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

２　各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア

米州　：米国

欧州　：ベルギー

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下.当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の３つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額(注) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 油脂 | 製菓・製パン素材 | 大豆たん白 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,961 | 24,862 | 9,152 | 55,977 | ― | 55,977 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,742 | 42 | 136 | 2,921 | △2,921 | ― |
| 計 | 24,703 | 24,905 | 9,289 | 58,898 | △2,921 | 55,977 |
| セグメント利益 | 556 | 1,891 | 515 | 2,963 | ― | 2,963 |

（注）１　セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　「サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、セグメント損益に与える影響は軽微であります。

(参考資料)

所在地別セグメント

（単位：百万円）

| | 日本 | アジア | 米州 | 欧州 | 計 | 調整額 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 40,020 | 9,026 | 3,787 | 3,142 | 55,977 | ― | 55,977 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 18 | 7,910 | 120 | ― | 8,049 | △8,049 | ― |
| 計 | 40,038 | 16,937 | 3,907 | 3,142 | 64,026 | △8,049 | 55,977 |
| セグメント利益又は損益（△） | 2,639 | 417 | △17 | 45 | 3,084 | △121 | 2,963 |

（注）１　国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

２　各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア
タイ
米州　：米国
欧州　：ベルギー

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

# 平成25年3月期 第1四半期
# 決算補足資料

二つとない、をつくる。
不二製油

1

## 目次


1．連結 第1四半期業績
　（1） 連結 損益概要
　（2） 連結 油脂部門損益
　（3） 連結 製菓・製パン素材部門損益
　（4） 連結 大豆たん白部門損益
　（5） 連結 地域別損益
　（6） 連結 貸借対照表
　（7） 連結 キャッシュ・フロー
　（8） 連結 指標
2．第2四半期業績予想及び通期業績予想
3．単体 第1四半期業績


※1： 本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2： 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

# 1－(1) 連結 損益概要

（単位：億円）

| | | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 増減額 | 対前期 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 油脂 | 258 | 220 | ▲38 | ▲14.8% |
| | 製菓・製パン素材 | 239 | 249 | ＋10 | ＋4.0% |
| | 大豆たん白 | 95 | 92 | ▲4 | ▲3.7% |
| | 合計 | 592 | 560 | ▲32 | ▲5.4% |
| 営業利益 | 油脂 | 14 | 6 | ▲8 | ▲59.9% |
| | 製菓・製パン素材 | 18 | 19 | ＋1 | ＋4.2% |
| | 大豆たん白 | 7 | 5 | ▲2 | ▲27.5% |
| | 合計 | 39 | 30 | ▲9 | ▲24.2% |
| 営業利益率 | | 6.6% | 5.3% | ▲1.3p | ― |
| 経常利益 | | 38 | 29 | ▲10 | ▲24.9% |
| 四半期純利益 | | 27 | 19 | ▲8 | ▲29.6% |
| 四半期包括利益 | | 36 | 38 | ＋2 | ＋5.0% |

3

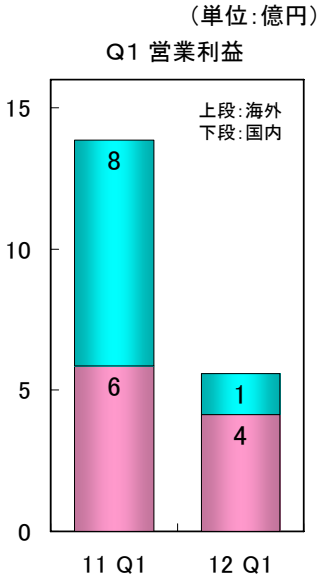
# 1－(2) 連結 油脂部門損益

（単位：億円）

| | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 増減額 | 対前期 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 258 | 220 | ▲38 | ▲14.8% |
| 営業利益 | 14 | 6 | ▲8 | ▲59.9% |

【業績サマリー】

- 国内市場では主要原料相場下落により減収となり、ヤシ油・パーム油は採算維持に努めたが、チョコレート用油脂はココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化し減収・減益。
- 海外市場では欧米でのチョコレート用油脂の販売数量減少に加え、国内同様に採算が悪化し減収・減益。




4

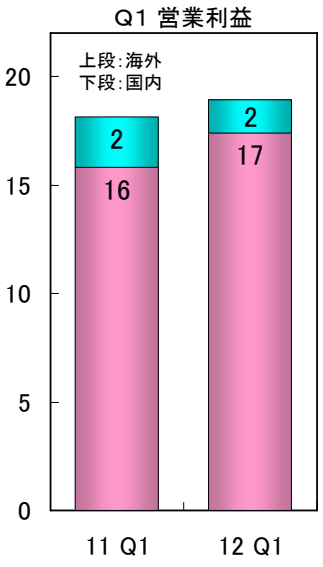
# 1－(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

（単位：億円）

| | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 239 | 249 | ＋10 | ＋4.0% |
| 営業利益 | 18 | 19 | ＋1 | ＋4.2% |

【業績サマリー】

- 国内市場では業務用チョコレート、マーガリン・フィリングの販売増加により増収・増益。
- 海外では東南アジア・中国市場での業務用チョコレート・クリーム・マーガリンが好調に推移し増収になるも、調製品の販売減少により減益。





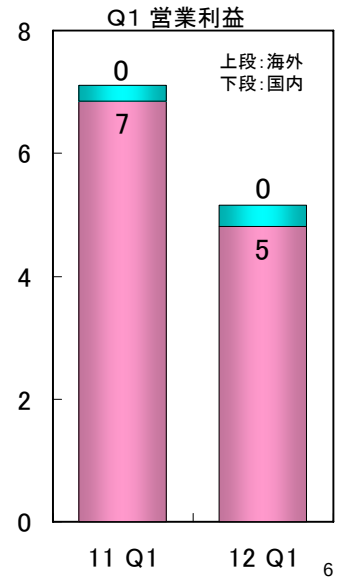

# 1－(4) 連結 大豆たん白部門損益

（単位：億円）

| | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 95 | 92 | ▲4 | ▲3.7% |
| 営業利益 | 7 | 5 | ▲2 | ▲27.5% |

【業績サマリー】

- 大豆たん白素材は食肉・水産市場向けの販売が増加したが、健康食品・冷食・惣菜・発酵培地用途が減少し減収。
- 大豆たん機能剤は発酵培地用途の販売が増加したが、海外市場向けが減少し減収。
- 大豆たん白食品は弁当給食市場向けの販売が増加したが、即席麺用途が減少し減収。



# 1－(5) 連結 地域別損益

（単位：億円）

| | | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 増減額 | 対前期 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 日本 | 420 | 400 | ▲20 | ▲4.8% |
| | アジア | 90 | 90 | ＋0 | ＋0.3% |
| | 欧米 | 81 | 69 | ▲12 | ▲14.8% |
| | 合計 | 592 | 560 | ▲32 | ▲5.4% |
| 営業利益 | 日本 | 29 | 26 | ▲2 | ▲7.5% |
| | アジア | 5 | 4 | ▲1 | ▲18.4% |
| | 欧米 | 4 | 0 | ▲4 | ▲93.8% |
| | 消去 | ＋1 | ▲1 | ▲2 | ― |
| | 合計 | 39 | 30 | ▲9 | ▲24.2% |

7

# 1－(6) 連結 貸借対照表

（単位：億円）

| | 11年度末 | 12年度 Q1末 | 対前期末 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 979 | 990 | ＋11 |
| 固定資産 | 859 | 873 | ＋13 |
| 資産合計 | 1,839 | 1,863 | ＋24 |
| 有利子負債 | 377 | 384 | ＋7 |
| その他負債 | 367 | 359 | ▲8 |
| 負債合計 | 744 | 743 | ▲1 |
| 純資産合計 | 1,095 | 1,120 | ＋25 |

**流動資産の増加**
・たな卸資産の増加 17億円

**固定資産の増加**
・有形固定資産の増加 10億円
　設備投資 16億円
　減価償却費 ▲19億円
　円高換算増加 14億円
・無形固定資産の増加 2億円
・投資その他資産の増加 2億円

**有利子負債の増加**
・単体 ▲2億円
・グループ会社 9億円

**純資産の増加**
・利益剰余金の増加 9億円
　当期純利益 19億円
　配当金 ▲10億円
・その他の包括利益累計額の増加 14億円
・少数株主持分の増加 3億円

8

# 1ー(7) 連結 キャッシュ・フロー

（単位：億円）

| | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前期 |
|---|---|---|---|
| 税引前四半期純利益 | 37 | 29 | ▲8 |
| 減価償却費 | 21 | 21 | ▲1 |
| 他増減 | ▲80 | ▲21 | ＋60 |
| 営業キャッシュ・フロー | ▲22 | 29 | ＋51 |
| 投資キャッシュ・フロー | ▲14 | ▲18 | ▲4 |
| フリー・キャッシュ・フロー | ▲36 | 11 | ＋47 |
| 借入金等による調達・返済 | 55 | ▲1 | ▲ 57 |
| 配当支払・自己株取得等 | ▲11 | ▲11 | ▲1 |
| 財務キャッシュ・フロー | 44 | ▲13 | ▲57 |
| 現金及び現金同等物増減 | 換算差額含む 10 | 換算差額含む 1 | ▲7 |
| 新規連結・連結除外に伴う増減 | ▲0 | ＋1 | ＋1 |
| 現金及び現金同等物残高 | 78 | 125 | ＋46 |

（注）・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。
・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

# 1ー(8) 連結 指標

（単位:億円）

| | 09通期 | 10Q1 | 10通期 | 11Q1 | 11通期 | 12Q1 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 設備投資額 | 78 | 15 | 76 | 18 | 62 | 16 |
| 減価償却費 | 92 | 22 | 88 | 20 | 84 | 19 |
| 有利子負債 | 446 | 438 | 397 | 456 | 377 | 384 |
| 純資産（少持除く） | 942 | 956 | 983 | 1,006 | 1,036 | 1,059 |
| 1株当たり純資産 | 1,096円 | 1,112円 | 1,144円 | 1,170円 | 1,205円 | 1,232円 |
| 総資産 | 1,743 | 1,745 | 1,744 | 1,820 | 1,839 | 1,863 |
| 自己資本比率 | 54.0% | 54.8% | 56.4% | 55.3% | 56.4% | 56.8% |
| D/Eレシオ | 0.47 | 0.46 | 0.40 | 0.45 | 0.36 | 0.36 |
| ROE | 12.0% | 12.6% | 10.2% | 10.8% | 8.2% | 7.2% |
| ROA | 10.0% | 10.4% | 9.3% | 8.8% | 7.3% | 6.4% |

（注）・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。
・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。
・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産（少数株主持分除く）
・ROE＝当期純利益÷純資産（Q1指標は、年換算しています。）
・ROA＝経常利益÷総資産　（Q1指標は、年換算しています。）

10

# 2　第2四半期業績予想及び通期業績予想

【連結業績予想】

（単位：億円）

| | 第2四半期累計 | | | 通　期 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前　期 | 当　期 | 増　減 | 前　期 | 当　期 | 増　減 |
| 売上高 | 1,165 | 1,164 | ▲1 | 2,366 | 2,485 | ＋119 |
| 営業利益 | 60 | 62 | ＋2 | 130 | 155 | ＋25 |
| 経常利益 | 59 | 60 | ＋1 | 130 | 150 | ＋20 |
| 四半期（当期）純利益 | 40 | 38 | ▲2 | 83 | 93 | ＋10 |

【単体業績予想】

（単位：億円）

| | 第2四半期累計 | | | 通　期 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前　期 | 当　期 | 増　減 | 前　期 | 当　期 | 増　減 |
| 売上高 | 702 | 695 | ▲7 | 1,426 | 1,490 | ＋64 |
| 営業利益 | 40 | 46 | ＋6 | 100 | 116 | ＋16 |
| 経常利益 | 41 | 46 | ＋5 | 103 | 117 | ＋14 |
| 四半期（当期）純利益 | 24 | 29 | ＋5 | 64 | 74 | ＋10 |

（注）平成24年5月8日発表の第2四半期（累計）業績予想並びに、通期業績予想は変更しておりません。

11

# 3　単体 第1四半期業績

（単位：億円）

| | 11年度 Q1 | 12年度 Q1 | 対前年同期 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 362 | 332 | ▲30 | ▲8.2% |
| 営業利益 | 25 | 24 | ▲1 | ▲5.3% |
| 経常利益 | 26 | 25 | ▲1 | ▲5.0% |
| 四半期純利益 | 15 | 16 | ＋1 | ＋8.2% |

12